

保育サービスの充実と 環境整備を求める

野原 恵 子 議員

問 女性の社会進出や核家族化などが進む中、安心して子供を育てるための環境の充実が求められている。厳しさの増す経済状況の中で、再就職の希望や、体調を崩し通院したくても、元氣な子供を病院に連れて行く不安、家族の介護などで育児ができないときに一時保育をしてほしいという要望がお母さんたちから多く出されている。エンゼルプランのアンケートでも、一番の要望は一時保育となっており、早期の実施が望まれている。

女性の社会進出や核家族化などが進む中、安心して子供を育てるための環境の充実が求められている。厳しさの増す経済状況の中で、再就職の希望や、体調を崩し通院したくても、元氣な子供を病院に連れて行く不安、家族の介護などで育児ができないときに一時保育をしてほしいという要望がお母さんたちから多く出されている。エンゼルプランのアンケートでも、一番の要望は一時保育となっており、早期の実施が望まれている。

少子化が進む中で社会全体で子育て支援を進めていくべきであり、現状の中で可能なところから実施する対策を講じるべきと考え

また、子供は十分に身体を動かし遊ぶことで知恵も体力も付く。市街地は空き地もなく、主に街区公園で遊んでいるが、整備が不

る。なお、移転改築事業については、北栄町の区画整理事業に併せる中で整備をしていくことが一番良いと思っており、早急に十勝支庁と協議を進めていきたい。なお、保育所や近隣センターを活用することも内部での検討したが、近隣センターの担う役割や地域の方が利用されるということ、また、保育所を増築しても無駄になってしまうことから、さかえ保育所の建て替えのときに一気に整備することとした。

① 一時保育の実施について。
② 街区公園の整備、遊具の保守、整備について。

町長 ① 一時保育については、お母さんたちから直接お話しを伺っており必要性について十分認識している。

現在、開設している子育て支援センター「あおば」は札内青葉保育所に併設する形で運営しているが、一時保育を実施するスペースの確保が困難な状況にある。

利用を希望される方には大変不便をかけているが、今、札内共栄町にある「さかえ保育所」の移転改築時に合わせて子育て支援センターも移設し、一時保育等も実施すべく計画をしてい

る。ともに、職員によるパトロールを随時行う中で安全確保に努めている。さらに砂場のある公園では清掃やネット等を寄せ付けないための薬剤散布を月1回実施するほか、砂の汚染検査等も実施している。

遊具の充実については、老朽化や利用状況等を確認し、必要に応じて毎年1カ所あるいは2カ所程度の公園に遊具を設置している。なお、遊具を子供の成長に合わせて整備していくことは、公園は不特定多数の方々が使われることから、そのたびに遊具をそれに合わせたものに整備していくことは難しい。

は、年に一度、春に業者により一斉点検を実施するとともに、職員によるパトロールを随時行う中で安全確保に努めている。さらに砂場のある公園では清掃やネット等を寄せ付けないための薬剤散布を月1回実施するほか、砂の汚染検査等も実施している。

交通安全指導員の今後の方向性は

問 通学児童の交通安全を守る指導員は、学校の登下校のときの交通安全の啓発、指導のみではなく、犯罪の抑止でも大切な役割をになっている。

帯広市では、来年度から指導員を廃止すると聞いていますが、幕別町での今後の方向性について伺う。

町長 これからの交通安全対策は、現行の指導員



交通安全指導員の声かけが交通安全啓発につながっていると思うが。

による登下校だけの交通安全対策ではなく、日常において児童が交通安全に対する理解を高める必要もあることから、学校、家庭、行政が一体となって、今までの教育と新たな視点から見た交通安全教育が必要である。

指導員制度のあり方については、今すぐ止めるのではなく、幕別町交通安全指導員設置条例が制定された昭和40年代に比べて道路事情が非常に整備され、安全に配慮された状況にあることを踏まえ、管内市町村の動向や、学校など関係団体の意見を聞かせていただいた中で検討を進めていきたい。